

## 2023年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、2024年6月に「2023年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

### 調査結果サマリ

現在の大学2年生が、どのように大学生活を送り、これからの大学生活においてどのような活動を行いたいと考えているのか、「働くこと」についてのイメージや、大学卒業後の進路についてどのように考えているのかを明らかにするため調査を実施した。

#### 【主な調査結果】

- ・現在、大学卒業後の進路として考えているものは、「民間企業に就職したい」が46.6%で最も高く、次に「公務員として就職したい」が23.2%、「卒業後の進路を考えていない」は12.2%。（P3）
- ・大学生活全般の満足度は、「満足・計」が67.3%。学業、大学内での課外活動、大学外での趣味・プライベートの活動に分けて聞くと、大学生活全般の満足度と比べて、学業や大学内での課外活動の満足度は低く、大学外での趣味・プライベートの活動の満足度は高かった。（P4）
- ・大学入学以降、現在実施している活動やコミュニケーションを聞くと、「アルバイト」が63.6%で最も高く、「友人との交流」や「大学の授業・ゼミ・研究室」が続いた。これから力を入れていきたいものでは、「大学の授業・ゼミ・研究室」が47.5%で最も高く、「資格取得のための勉強や予備校での勉強」が33.6%、「アルバイト」が32.2%であった。（P6）
- ・これまでのアルバイト経験を聞いたところ、90.9%の学生が「経験あり」と回答した。（P7）
- ・社会人として働くことについてのイメージを聞くと、「責任が求められる」「お金を稼げる」というイメージが強く、「あてはまる」と回答した学生は5割を超えた。「楽しい」は、「あてはまる・計」と「あてはまらない・計」の割合がほぼ同程度であった。（P8）
- ・「就職」について考える際に情報を得ているのは、「親」からが42.3%で最も高かった。また、どのようなところから情報を得たいかを聞くと、「就職情報サイト」が46.1%と最も高いが、「大学の教員」が44.8%、「大学でのキャリアガイダンス」が43.9%、「キャリアセンター職員」が43.8%など、大学から情報を得たいと考えている学生が多い様子。（P10）

■2023年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学2年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2023年大学入学の大学2年生

調査期間：2024年6月5日～6月17日

調査回答数：1,081人

■2022年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学2年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2022年大学入学の大学2年生

調査期間：2023年6月8日～6月19日

調査回答数：1,053人

≪調査結果を見る際の注意点≫

- ・上記の調査結果を経年比較グラフに使用する場合、2023年入学、2022年入学と記載している記載のないものについては2023年入学調査を使用している
- ・集計値は小数第2位で四捨五入しているため、単純計算した合計値と集計値が一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している

2023年入学 大学2年生の属性

■ 学校区分

n=1,081	学校区分 (%)		
	国立	公立	私立
	22.2	9.2	68.6

■ 地域

n=1,081	地域 (%)			
	関東	中部	近畿	その他地域
	36.0	15.8	23.1	25.1

■ 文理

n=1,081	文理 (%)	
	文系	理系
	52.2	47.8

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ： <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート： <https://www.recruit.co.jp/>

## 大学卒業後の志望進路

2023年入学の大学2年生に、大学入学時点で大学卒業後の進路として考えていたものを聞いたところ、「民間企業に就職したい」が41.3%と最も高く、次に「公務員として就職したい」が21.2%であった。また、「卒業後の進路を考えていなかった」は17.2%であった。

大学2年生になった現在、大学卒業後の進路として考えているものは、入学時点と比べ「卒業後の進路を考えていない」の割合が減り、主に「民間企業に就職したい」の割合が増え、就職志望者(※)の割合は75.0%であった。

### ■ 大学入学時、大学卒業後の進路として考えていたもの (全体/複数回答)

		(%)									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		卒業後の進路を考えていなかった	民間企業に就職したい	公務員として就職したい	教員として就職したい	医師・歯科医師・看護師として就職したい	上記3-5以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい	起業したい	大学院等へ進学したい	留学したい	その他
2023年入学	n=1,081	17.2	41.3	21.2	8.5	10.0	6.7	3.7	16.4	3.6	2.0
2022年入学	n=1,053	17.9	38.7	24.5	8.7	8.0	8.8	4.7	12.4	3.3	2.1

### ■ 現在、大学卒業後の進路として考えているもの (全体/複数回答)

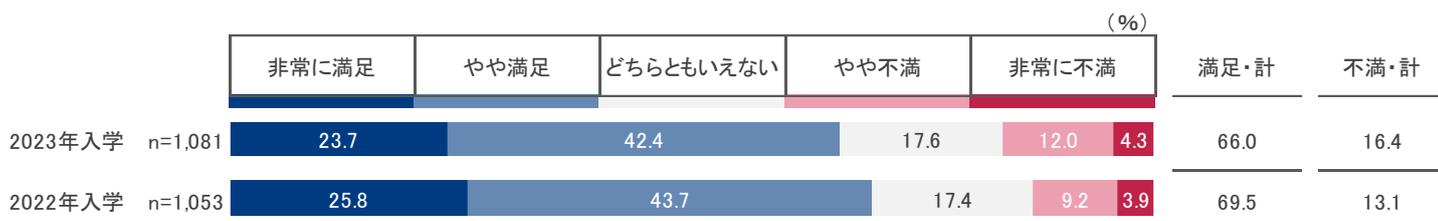
		(%)										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		卒業後の進路を考えていない	民間企業に就職したい	公務員として就職したい	教員として就職したい	医師・歯科医師・看護師として就職したい	上記3-5以外で民間企業ではない組織・団体に就職したい	起業したい	大学院等へ進学したい	留学したい	その他	就職志望者
2023年入学	n=1,081	12.2	46.6	23.2	8.3	10.5	6.9	5.3	17.1	4.3	1.9	75.0
2022年入学	n=1,053	14.2	44.7	26.2	8.4	8.2	10.0	6.3	12.2	2.9	2.4	74.7

※「現在、大学卒業後の進路として考えているもの」で、②~⑥のいずれかを選択した回答者を「就職志望者」として集計

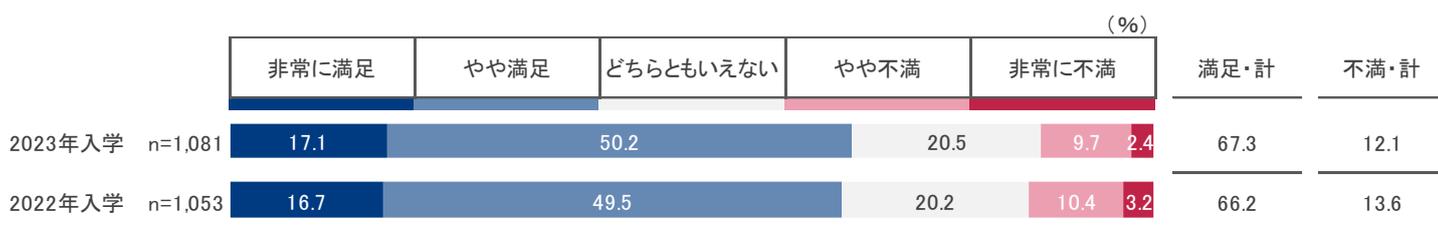
## 高校生活と大学生生活の満足度

高校生活の満足度を聞くと、「非常に満足」「やや満足」を合わせた「満足・計」が66.0%であった。また、大学入学時から現在までの大学生生活全般の満足度は、「満足・計」が67.3%であるが、学業、大学内での課外活動、大学外での趣味・プライベートの活動に分けて聞いたところ、大学生生活全般の満足度と比べて、学業や大学内での課外活動の満足度は低く、大学外での趣味・プライベートの活動の満足度は高かった。

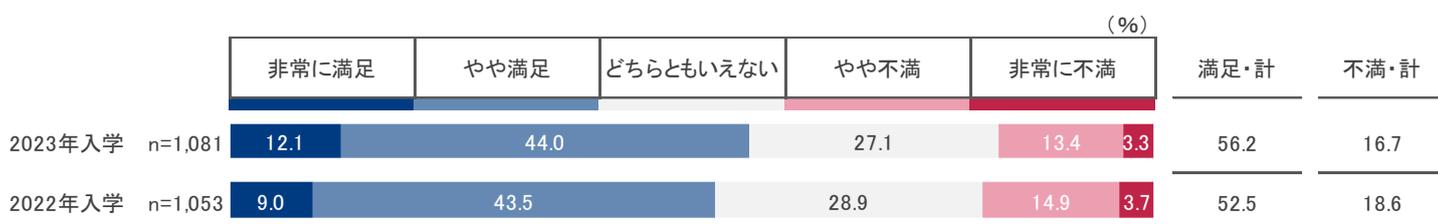
### ■ 高校生活の満足度 (全体/単一回答)



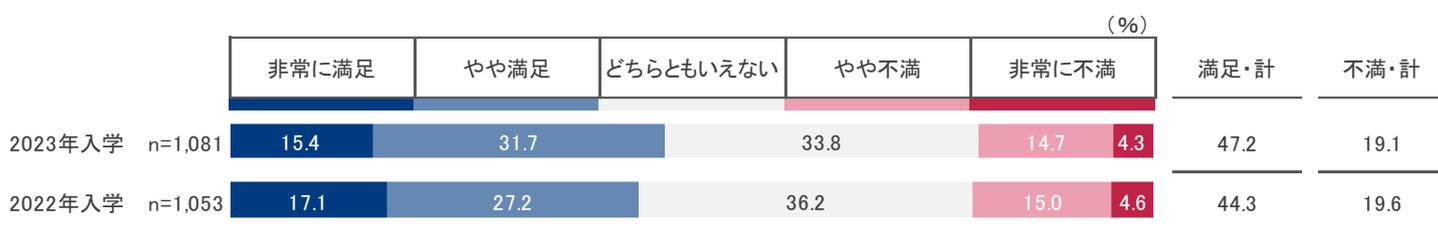
### ■ 大学入学時から現在までの大学生生活全般の満足度 (全体/単一回答)



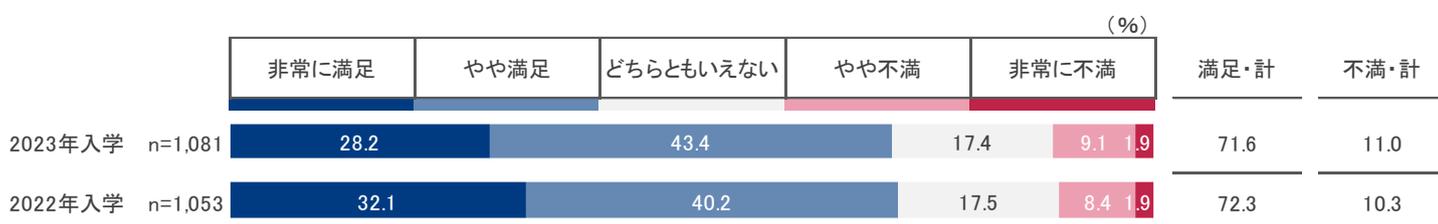
### ■ 大学入学時から現在までの学業の満足度 (全体/単一回答)



### ■ 大学入学時から現在までの大学内での課外活動の満足度 (全体/単一回答)



### ■ 大学入学時から現在までの大学外での趣味・プライベートの活動の満足度 (全体/単一回答)

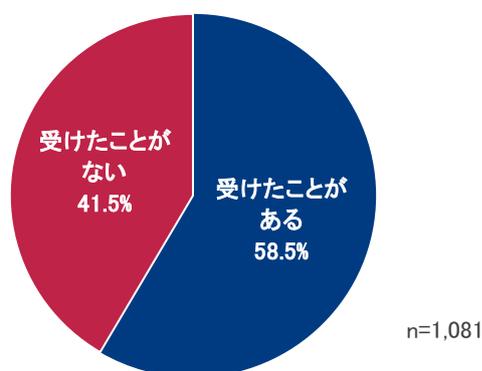


## 「キャリア」に関する授業の受講経験／授業を受けて得たものや身についたと思うもの

大学入学後の「キャリア」に関する授業の受講経験を聞いたところ、58.5%の学生が「受けたことがある」と回答した。

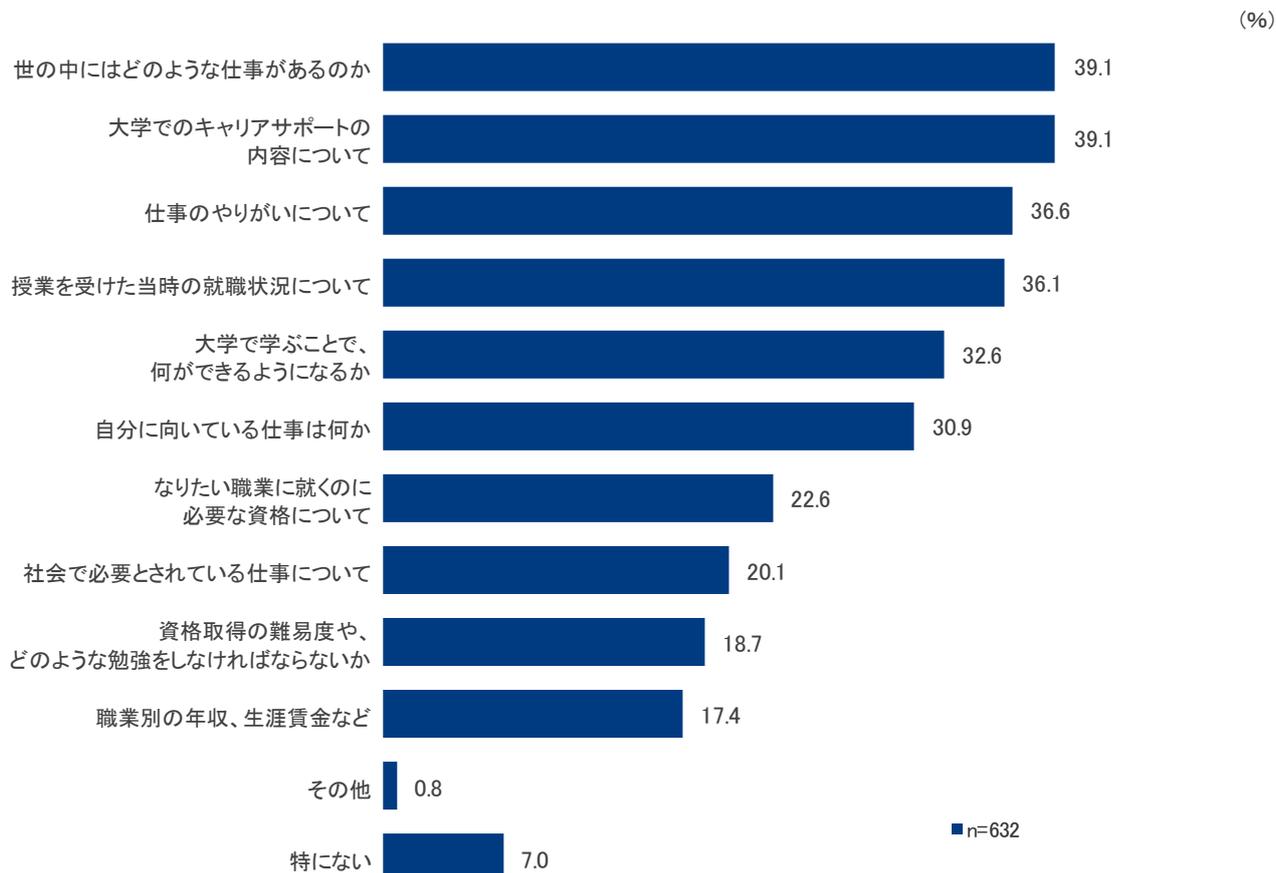
「キャリア」に関する授業を受けたことがある学生に、授業を受けて得たものや身についたと思うものを聞くと、「世の中にはどのような仕事があるのか」と「大学でのキャリアサポートの内容について」がいずれも39.1%で最も高く、「仕事のやりがいについて」が36.6%と続いた。

### ■ 大学入学後の「キャリア」に関する授業の受講経験（全体／単一回答）



### ■ 「キャリア」に関する授業を受けて得たものや身についたと思うもの

（「キャリア」に関する授業の受講経験者／複数回答）



## 大学入学以降、現在実施している（これから力を入れていきたい）活動やコミュニケーション

大学入学以降、現在実施している活動やコミュニケーションを聞くと、「アルバイト」が63.6%で最も高く、「友人との交流」や「大学の授業・ゼミ・研究室」が続いた。

また、大学在学中に、これから力を入れていきたいものについて聞くと、「大学の授業・ゼミ・研究室」が47.5%で最も高く、「資格取得のための勉強や予備校での勉強」が33.6%、「アルバイト」が32.2%であった。

### ■ 大学入学以降、現在実施している活動やコミュニケーション（全体／複数回答）

現在実施しているものの中で、最も力を入れている活動やコミュニケーション（全体／単一回答）

大学在学中に、これから力を入れていきたい活動やコミュニケーション（全体／複数回答）

		(%)								
		大学の授業・ゼミ・研究室	大学の授業・ゼミ・研究室のための勉強(予習・復習など)	資格取得のための勉強や予備校での勉強	部活スポーツ系	部活文化系	サークルスポーツ系	サークル文化系	アルバイト	社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)
現在実施しているもの	n=1,081	54.3	31.1	18.8	14.4	7.2	12.0	19.2	63.6	10.9
現在実施しているものの中で最も力を入れているもの	n=1,081	16.3	4.3	4.6	7.4	2.2	3.8	4.7	19.3	1.1
大学在学中に、これから力を入れていきたいもの	n=1,081	47.5	30.5	33.6	9.3	3.6	4.9	8.0	32.2	16.7

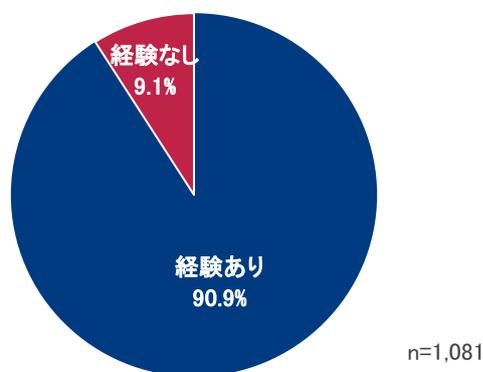
		異文化交流(留学生とのコミュニケーションなど)	企業での就業体験	趣味	友人との交流	親族との交流	SNSやオンライン上のコミュニティでの交流	企業や社会人との交流	その他	特にない
現在実施しているもの	n=1,081	6.6	2.3	50.0	59.2	28.2	20.7	3.8	0.4	5.6
現在実施しているものの中で最も力を入れているもの	n=1,081	0.8	0.2	12.3	8.0	0.2	0.7	0.4	0.2	13.4
大学在学中に、これから力を入れていきたいもの	n=1,081	7.2	15.1	26.6	23.9	10.4	7.4	12.0	0.3	12.3

## これまでのアルバイト経験、卒業後働くことについての意識

これまでのアルバイト経験を聞いたところ、90.9%の学生が「経験あり」と回答した。

卒業後働くことについて意識しているかを聞くと、「意識している」が46.0%、「どちらかという意識している」が38.9%で、「意識している・計」は84.9%であった。

### ■ これまでのアルバイト経験 (全体/単一回答)



### ■ 卒業後働くことについての意識 (全体/単一回答)

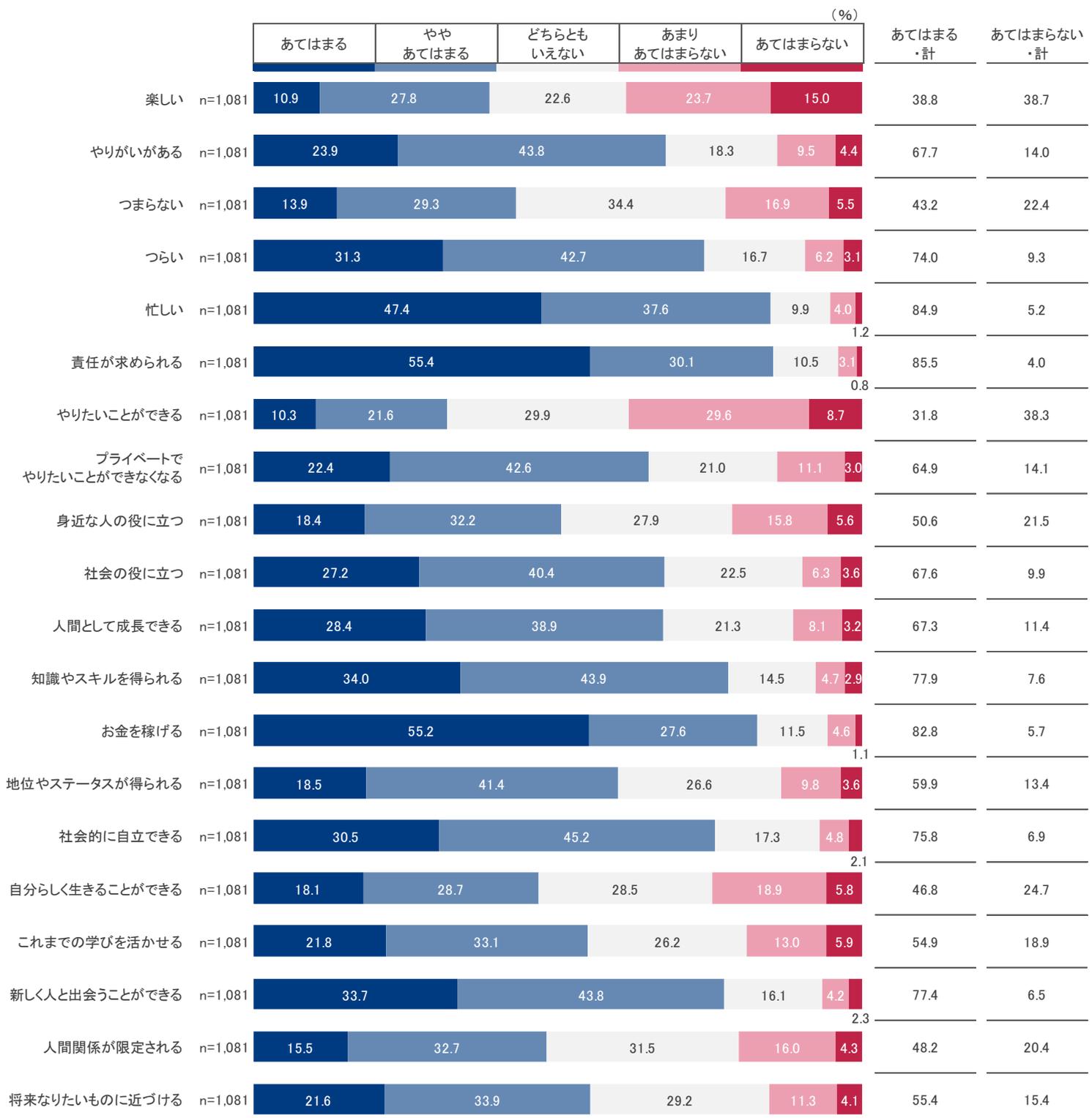
				(%)	
	意識している	どちらかという意識している	どちらかという意識していない	意識していない	
n=1,081	46.0	38.9	10.9	4.2	意識している・計 84.9
					意識していない・計 15.1

## 働くことについてのイメージ

社会人として働くことについてのイメージを聞くと、「責任が求められる」「お金を稼げる」というイメージが強く、「あてはまる」と回答した学生はいずれも5割を超えた。

「楽しい」は、「あてはまる・計」が38.8%、「あてはまらない・計」が38.7%とほぼ同程度であった。

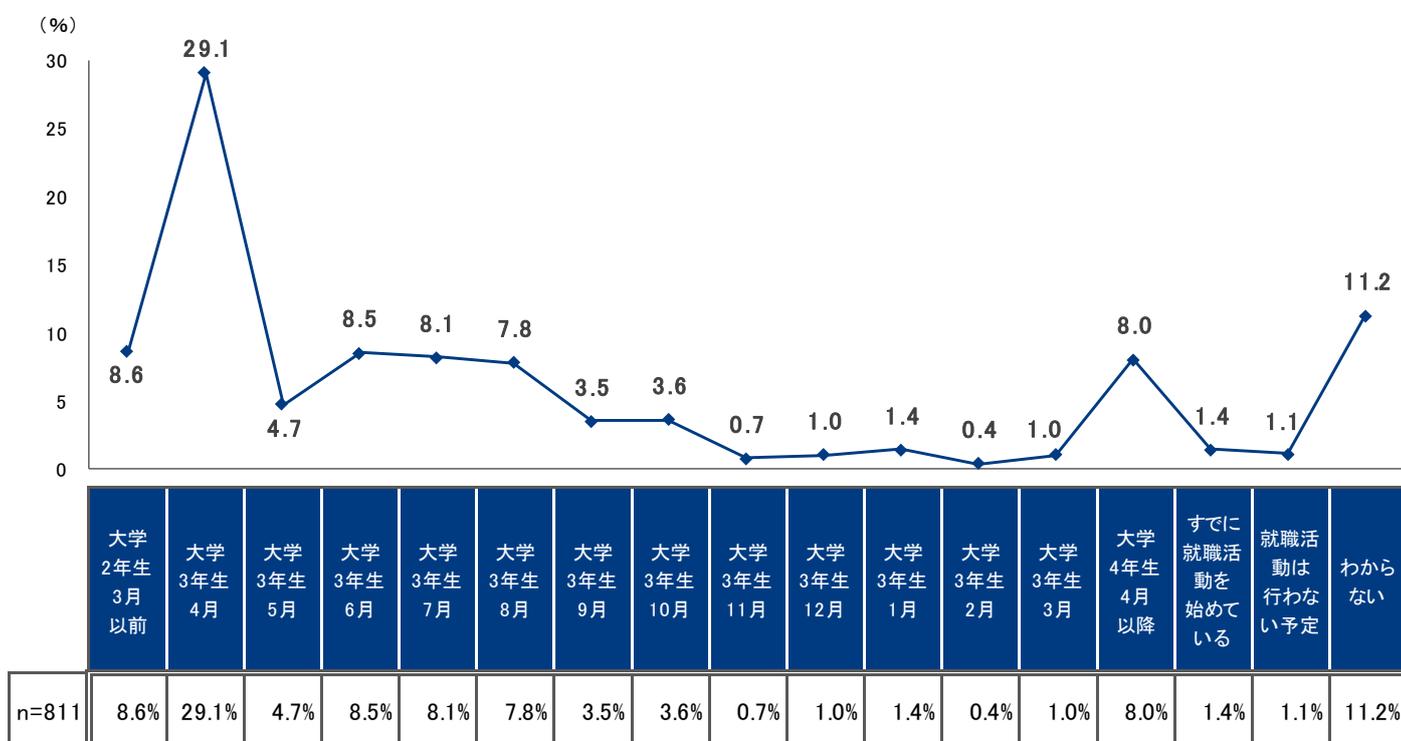
### ■ 働くことについてのイメージ (全体/単一回答)



## 就職活動の開始想定時期

就職志望者に、就職活動を行う場合にいつ頃から始めることを想定しているかを聞くと、「大学3年生4月」が29.1%で最も高かった。「大学2年生3月以前」や「大学4年生4月以降」「わからない」以外では、「大学3年生6月」「大学3年生7月」「大学3年生8月」と回答した学生が、それぞれ約8%とやや高かった。

### ■ 就職活動の開始想定時期 (就職志望者/単一回答)

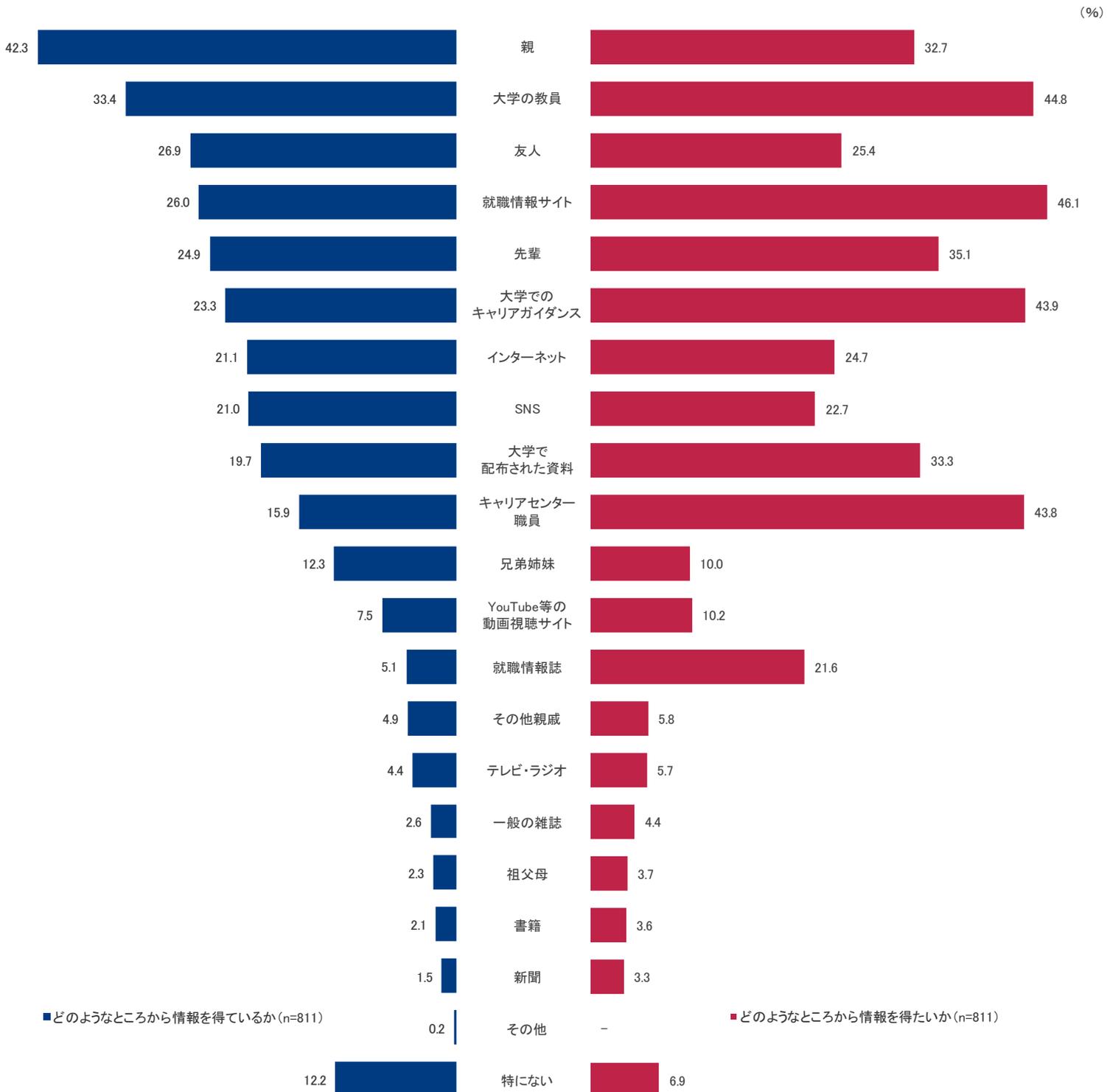


## 「就職」について考える際の情報取得先

就職志望者に、「就職」のことを考える際にどのようなところから情報を得ているかを聞くと、「親」が42.3%で最も高く、「大学の教員」が33.4%、「友人」が26.9%と続いた。

「就職」のことを考える際にどのようなところから情報を得たいかを聞くと、「就職情報サイト」が46.1%で最も高いが、「大学の教員」が44.8%、「大学でのキャリアガイダンス」が43.9%、「キャリアセンター職員」が43.8%と、大学から情報を得たいと考えている学生が多い様子がうかがえる。

### ■ 「就職」について考える際の情報取得先（就職志望者／複数回答）

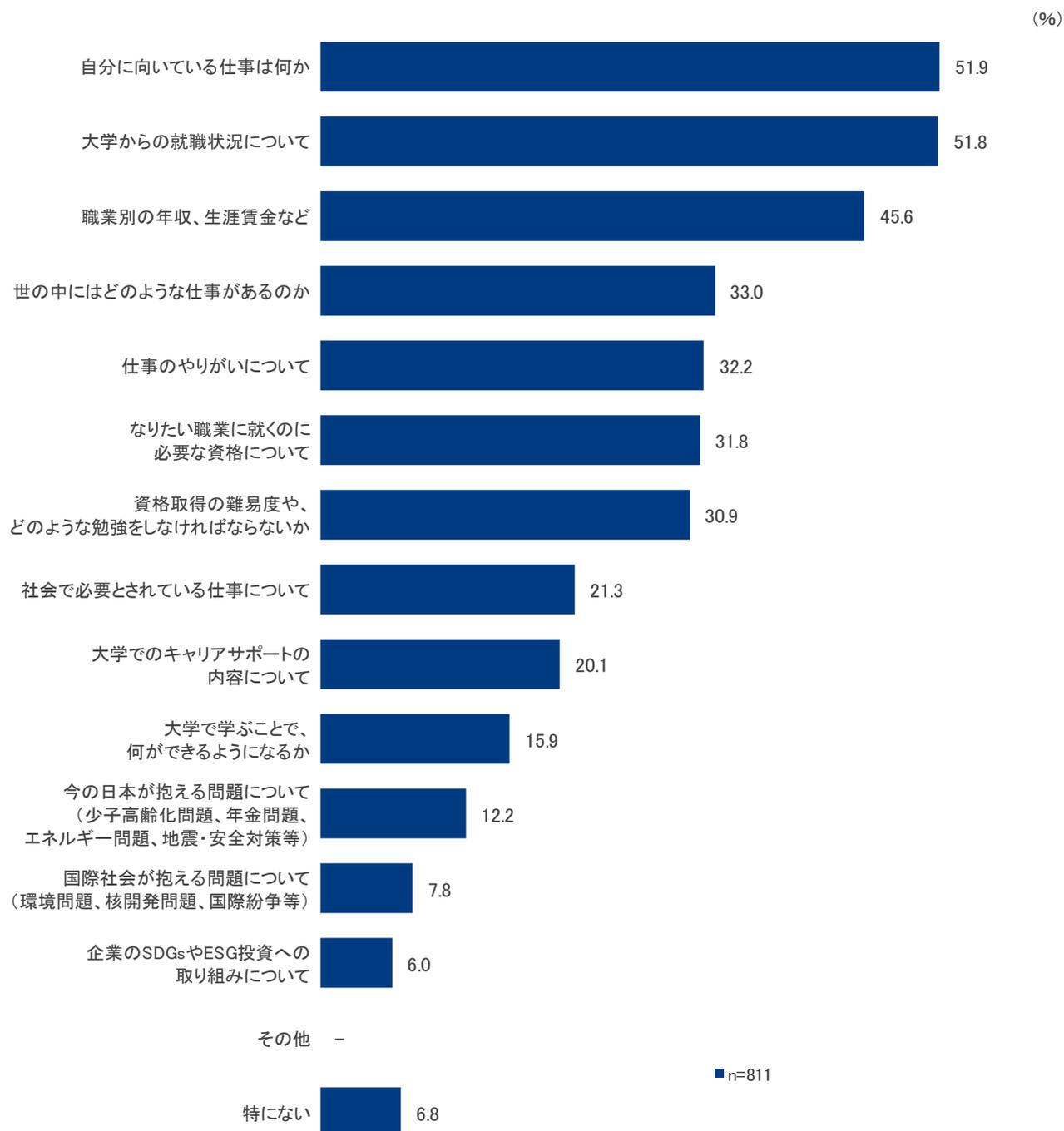


※「どのようなところから情報を得ているか」の数値の大きい順に掲載

## 「就職」について考える際に知りたいこと

就職志望者に、「就職」について考える際にどのようなことを知りたいと思うかを聞くと、「自分に向いている仕事は何か」が51.9%で最も高く、「大学からの就職状況について」が51.8%、「職業別の年収、生涯賃金など」が45.6%と続いた。

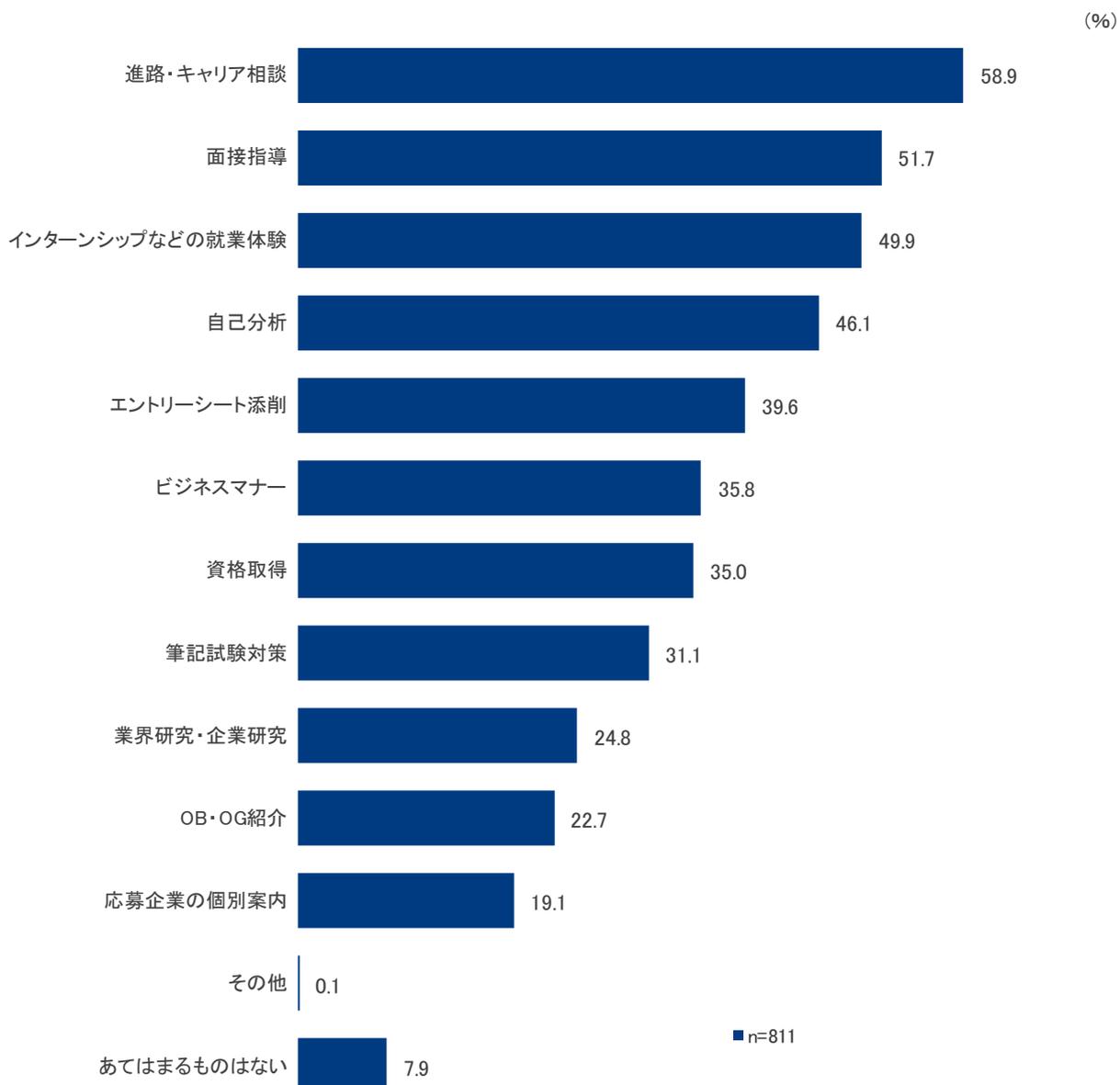
### ■ 「就職」について考える際に知りたいこと（就職志望者／複数回答）



## 「就職」のことを考える際に大学に支援してほしいこと

就職志望者に、「就職」のことを考える際に大学に支援してほしいことを聞くと、「進路・キャリア相談」が58.9%で最も高く、「面接指導」「インターンシップなどの就業体験」と続いた。

### ■ 「就職」のことを考える際に大学に支援してほしいこと（就職志望者／複数回答）

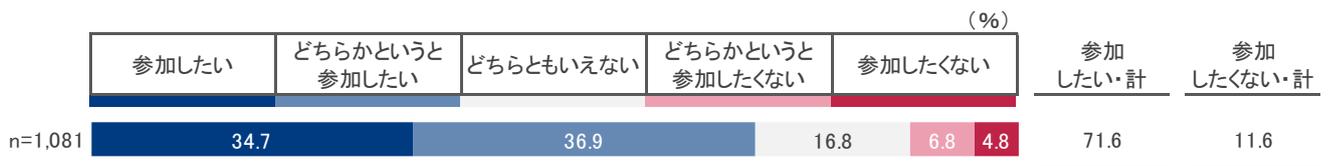


## インターンシップなどの就業体験への参加意向、参加したい理由

インターンシップなどの就業体験に参加したいと思うかを聞いたところ、「参加したい・計」が約7割であった。

就業体験に参加したいと回答した学生にその理由を聞くと、「就職活動に役立つ情報や経験を得るため」「就職活動をする上で有利になると思うため」「自分自身のキャリア観を明らかにするため」が5割を超える結果であった。

### ■ インターンシップなどの就業体験への参加意向 (全体/単一回答)



### ■ インターンシップなどの就業体験へ参加したい理由

(インターンシップなどの就業体験への参加意向者/複数回答)

